

ヴィジュアル系の育ての親！ 星子誠一さん

取材・文／樋口伊麻里
写真／森嶋沙織

ヴィジュアル系音楽情報を発信し続ける、
星子誠一さん20年の軌跡。

ヴィジュアル系と聞いて、何を思い浮かべますか？奇抜なファッション？ハードな音楽？その通り、他にはない強烈な個性を持っています。ではこの強烈さの裏に隠された感慨深いストーリーをご存知でしょうか？これを機に、ヴィジュアル系の舞台裏を是非とも垣間見て下さい！



ヴィジュアル系の育ての親

ヴィジュアル系という存在が産声をあげて20年。現在もその「熱」は健在である。私もその熱に巻き込まれていく者の一人だ。独特の世界観と超ド級の自己の表現力を固持する彼らの魅力は、次世代へと受け継がれて来た。何故ここまでシーンが拡大したのだろうか？ヴィジュアル系音楽の火付け役となった兵（つわもの）、そしてメディアを通じてヴィジュアル系アーティストを支え続けているのが星子誠一さんだ。20年にも及ぶその活動を考えると星子さんを「ヴィジュアル系の育ての親」と言っても過言ではないだろう。では何故、星子さんはヴィジュアル系にこだわり続けているのか？そこには誰もが知る超有名ヴィジュアル系アーティストが関係していた。

hideとの出会いが人生を変えた

「あれは1990年2月4日だったかな。知り合いに誘われて武道館にライブを見に行っただけです。まさかその場所に大きな衝撃が待っていた。ステージ上で、見たことも無いようなアグレッシブなパフォーマンスを繰り広げていたのは、かの有名なX JAPAN(当時のX)。「見た瞬間、ぶっ飛びましたね。特にhideは印象的でした」

そう。真つ赤な長髪を逆立てたギターリスト、hideこそが星子さんの人生に大きな影響を与えた人物だ。

その後、当時存在していなかったお化粧系(当時の呼称)雑誌「SHOXX」を創刊すると、hideの口からこんな言葉が飛び出しました。「俺、こんな雑誌を待ってたんすよ！」

「今迄のメディアはアーティストやユーザーに対して上目線でした。ところが現在、アーティストとユーザーがインターネットなどを通じて直接接点出来るようになり、今まで盤石だったメディアという立場が危うくなっています。だからこれからは、メディア側がアー

アーティスト、ユーザー、メディアの三角形も変わらず、精力的にヴィジュアル系の情報発信を続ける星子さんは、これからのメディアに関してこうお話し下さった。



ティストやユーザーと目線を合わせてアーティスト、ユーザー、メディアの三角形を作るのが大切になって来ると思うんです。その為にツイッターやブログをやることによりメディア側の個性を表現して、ユーザーとのネットワークを作っています」

「便利」が拡大するが故に数々のものが縮小されていく。そんな時代の流れに負けじとヴィジュアル系の情報を発信しているのが星子さんだ。

出逢いや人間関係を大切に

何よりも人間関係を大切に、アーティストや関係者、そしてユーザーとの関係をより良いものにしよとするとその姿勢が、ヴィジュアル系の発展へと繋がっているのだらう。星子さんの計り知れないヴィジュアル系への愛と、それを興したhideの存在は、ヴィジュアル系が大きく育っていった一番の理由なのだと思う。もし星子さんがX JAPANと出逢っていなかったら、ヴィジュアル系はこれほど発展していなかったに違いない。ヴィジュアル系の強いメッセージはいつも私に感動を与えてくれ、また、時には良い相談相手にもなってくれる。そんな大切なヴィジュアル系の発展に尽くしてくださった星子さんの「思い」や「愛」が世の中の人々に、そして天国のhideに伝わりますように…

プロフィール

株式会社スターチャイルド取締役
洋楽ロック誌の編集長を経て1990年、ヴィジュアル系音楽専門誌「SHOXX」を刊行。2000年に株式会社スターチャイルド、2001年に株式会社ジコネクションを設立。ヴィジュアル系に特化した音楽情報を配信している。また、日本のポップカルチャーとしてヴィジュアル系を海外に広く発信し、外国人観光客の誘致に貢献している功績で観光庁から「VISIT JAPAN大使」に任命されている。

星子さん Special Interview

Q. 音楽情報を配信する上で心掛けていることはありますか？

A. アーティストの魅力を損なわないように、よく咀嚼して誤解のないように、そしてユーザーが楽しめるように、心掛けています。

Q. stylish wave (星子さんが主催するライブイベント) の出演バンドはどのように選ぶのですか？

A. 音楽、パフォーマンス、観客、スタッフを見て判断しています。これはもう経験値ですね。体の中のデータを基に選んでいます。

Q. この仕事をしていて良かったと思える時はどんな時ですか？

A. 人間的な付き合いをしている時ですね。自分もバンド経験があって、インディーズの苦しみを知っているので、アーティストと飲んで話を聞いたり、励ましたりしています。

Q. 星子さんから見たヴィジュアル系の魅力はなんですか？

A. 音楽性の広さですね。そしてメイクです。メイクもパフォーマンスなんです。メイクをすることによって個性を出しているんですよ。それらがマッチすると、バンドは大きくなって行きます。RUKI(the GazettE)も、SHOXXの表紙のhideを見てバンドを始めたと言っていました。そうしてヴィジュアル系が受け継がれて来たんですね。

Q. これからどのようなタイプの音楽が出て来ると思いますか？

A. 何が出て来るか分かりません。中国風ものが出て来るかもしれない！グローバル化して来ると、アジアなどの影響でそこの文化を取り入れたものが出て来るかもしれません。ヴィジュアル系は実験的ですからね。何でもアリです。

Q. 星子さんにとってヴィジュアル系とは何ですか？

A. ライフワークです。



発見！★目黒との意外な関係

実は、目黒にはヴィジュアル系の聖地と言われているライブハウスがあるんです！X JAPANもインディーズ時代はよくここでライブをしていたとか…！意外にも、目黒とヴィジュアル系にこんな繋がりがあったんですね。